



一般社団法人

# ロゴス腹話術研究会

2020年2月6日

会報

第12号

## 説教 起きよ、光を放て

春風つばめ

起きよ、光を放て

あなたを照らす光は昇り、主の栄光はあなたの上に輝く。

(イザヤ書60章1節)

皆さんは、新渡戸稲造という方をご存知でしょうか。もし五千円札をお持ちでしたら、そこに印刷されている肖像をご覧ください。樋口一葉の肖像が載っているはずですが、新渡戸稲造は、そのひとつ前の五千円札の肖像になった方です。

今日は、この方についてお話させていただきたいと思います。新渡戸稲造の名前は『武士道—日本人の魂』の著者としてよく知られています。英文で書かれたものですが、日本がまだ国際的にはほとんど知られていなかった明治時代、日本の精神とは何かを広く世界に伝えることになった書物であり、アメリカのセオドア・ルーズベルト大統領は「これまで、この本ほど日本人の心を明らかにした本はなかった。これこそが現代日本の説明なのだ」と絶賛した、とされています。

新渡戸稲造は札幌農学校で学び、内村鑑三とも親しくなり、やがてキリスト者となってゆきます。台湾が日本の植民地であった頃、植民地統治機関の技術任官として活躍したり、京都帝国大学の教授をしたり、東京帝国大学の教授をしながら、日米交換教授をしたり、国際連盟の事務次長の仕事をしたり、彼は日本と世界を結ぶ架け橋になろうとした人物です。

そんな彼がまだ9歳頃のエピソードです。新渡戸稲造のお父さんは、彼が5歳の時亡くなっていますから、9歳の時、彼は兄と共に叔父の太田の養子になります。兄道朗は病弱であったと言われています。そのことに心を痛めていた稲造は、あるとき銀座の洋品店で革の手袋が、普段の十分の一ぐらいの値段で売られているのを見つけて、兄孝行するつもりで買って帰りました。普段の十分の一の値段と言っても、稲造にとっては大金です。自分の好きな煎餅も団子も食べず、小遣いをはたいての買い物でした。兄は大変喜んでくれ、稲造もよいことをしたという気分で楽しく過ごしていました。

ところが一週間後、養父である叔父からこっぴどく叱られました。養父は泣きながら声をふるわせ「なんという心得違いをするのだ。ほかのことならともかく、他人の物に手をかけるということがあるか。もし国の母さんが聞いたら申し訳がたたない」と言ったのです。隣にいた養母である叔母も「舶来の手袋がお前に買えるわけがない。最近家のお金がなくなったが、それはお前が持ち出したに違いない」と言うのです。

稲造は驚愕するとともに、悔しくて悲しくてならなかったと言います。よほどその銀座の店に連れて行って身の証を立てようと思いましたが、しかし、それはやめたと言います。

「たとえ自分が潔白であっても、嫌疑をかけられるのは自分に弱点があるからだ。このような場合は弁解ではなく、生活によって表明するほかない」と思って、一切の弁解をしなかったと言います。非難を受けるとするなら、そうさせている自分がある。だから、まず自分の内を見つめ、自らを変えてゆくこと、結局は、現実の生き方をもって示すしかない、と考えたと言います。



そして、後になってから古歌の中に次の歌を見出したとき、それを座右の銘としました。

見る人の 心ごころに まかせおきて  
高根に澄める 秋の夜の月

同じ月であっても、見る人によって抱く想いは違う。月は、どう思われるか見る人の心にまかせてただ輝いている。自分も他人からどう思われるか、それは他人の心に任せて自分らしく輝いていよう。そういう気持ちを歌ったものではないか、と思います。

「少年よ、大志を抱け」と言ったのは札幌農学校校長クラーク博士です。その影響を受けた新渡戸稲造は、イエスの名を高め、多くの人々にイエスの心を伝えることを自分の人生の仕事であると考えていました。そして一人ひとりの内なる光（インナーライト）を世に現すことこそ、宗教の目的である、と考えていました。

新渡戸稲造は、9歳の時、養父母から誤解され厳しく叱られることになりましたが、彼は、その後の自分の生き方を通して身の潔白を証明しようとしました。私は、そこに彼の内なる光を見ることができると思います。それはキリストの光です。

天台宗の開祖最澄は、生きとし生けるものすべてが仏性を宿している、と言いました。そうだとすれば、キリストの光は仏の光でもあるかも知れません。

いずれにしても、誰もがその人の内側に眩い光を宿している、ということができるのではないかと思います。そして、ロゴス腹話術は、単なるエンターテインメントではなく、自らの芸を通してキリストの光、仏の光を放つことができる、ということではないかということです。

私自身が、そういう腹話術が出来るということではありません。出来ないと思います。しかし、そのような腹話術が出来たらいいなあ、という願い、志だけはあります。

そして、もしそのような腹話術が出来たとしたら、きっと観てくださる方々もキリストの光、仏の光を放つことができる良きご縁となれる、と信じています。

これからはAI（人工知能）の時代です。これまで人間がしてきたたくさんの仕事がAI（人工知能）によって取って代わられようとしています。人間にできて、AIにはできないことは何でしょう？ AIにはさせてはいけないことは何であって、人間にしかできないことは何であるのか。そのことを誰もが問われる時代がやって来ています。

キリストの光、仏の光を放つことは人間にしかできないことです。人間が放つ光によってしか癒されない心の傷、慰められない悲しみがあります。皆さんは、ご自分の最期をAIに看取って欲しいと思われませんか？私は、心が通い合う人間にそばにいてもらいたいです。人間がそばにいてくれるからこそ癒される孤独があると思います。

新渡戸稲造が内なる光（インナーライト）と呼んだ光を世に現すことは、ロゴスの心を現すことである、と私は思っています。これからも、ご一緒にロゴスの心と技を身につけるべく精進してゆきたいと願っています。

日本初代教団島之内教会牧師 木戸定



**イヤでも発声練習は毎日少しずつ続けよう**

（春風イチロー：『腹話術のすべて』より）

# 2019年 第7回ロゴス腹話術研修会・技術認定会

日時 2019年11月23日

会場 「百楽」(名古屋駅前)

プログラム

開会の礼拝 木戸定牧師

技術認定会

会食

研修会

「台本を深める」 春風とんぼ

技術認定証授与 野田めぐみ

## 総評

技術担当理事 春風とんぼ



以前にも増して激烈であったことは、個人的に特訓を求め、演技・演出に工夫を尽くしてお稽古を重ねた挑戦者が多かったのには驚かされました。

聞くとところによると、挑戦者は、各グループの選手として送り出された感じがあり、グループのリーダーや仲間たちが、演技の基本のチェック、盛り上がりの同調、新しく取り入れたら見栄えがするか否かの検討もこの数か月に行ったようでした。

上級挑戦に、一年の間隔を置くことは離れすぎ、もう少し間隔を縮め、どんどん上級をめざし、活性化させてはどうかという意見もありますが、「腹話術のすべて」を学習し、新しい勉強法を模索して行って、その級にふさわしい実力を養い、後輩をリードし、時代を育てていく心と技を持つためには、一年はかかるかとも思いました。

ともかく、今回もそのクラスにふさわしい「技」を見せてくれたことは、収穫であったと思います。さらに上を目指してください。

ロゴスの心は、「ことば」の伝達、やさしさと温かさ。かよいと交わり。声かけと応答であります。(台本に反映)

ロゴスの技は、そのことばを生かす目線の交わりです。この二つが通い合って、生きた人形の働きが出来る上がり、楽しい笑顔の腹話術になって社会から大きく受け入れられていくと確信します。

ロゴスの腹話術は、あなたとお人形二人だけのものではありません。観客の皆さんは勿論のこと、ご家庭の支援、地域の皆さん、関係してくださる皆さんの上に成り立ちます。

健康な笑いを追求し、みんなで、今回のように励まし合い、助け合ったロゴスの腹話術をつくり上げていきましょう。

心から感謝します。

## 師範



### 小澤多美子 ケンちゃん 「歯みがき体操」

★印は春風とんぼさんのコメント 敬称略



★技術認定会前の3か月間くらいで急速に演出・演技に伸びが目立ちました。見える虫歯、見せる演出、観客の笑い声が会場をなごませました。演技のリズム感を上げ術者、人形、観客が混然一体となる力があります。それを待っています。今後、支部のまとめも期待しています。

台本を作り、見直し、打音・破裂音のチェックをし、みなさんの前で何回も練習しました。大変でした。いつも、いつも、「腹話術」が離れませんでした。家では、「腹話術」を理由に家事放棄。友達からは「この頃、付き合い悪いね」と言われ、心が折れそうなほどでした。でも、おかげさまで師範の技術を認めていただきました。先生方、みなさん、ありがとうございました。

# 大学生への腹話術入門ワークショップの授業

春風テレサ



学生さんが人形を抱き、  
テレサさんと演技しました。

2019年10月25日に、小平市にある白梅学園大学子ども学部発達臨床学科1年生64人を対象に、腹話術入門を行いました。

まず、ペタクタを使ってウータンさんと自己紹介し、春風イチロー師匠のことに少し触れました。師匠が牧師だったこと、ロゴス腹話術の「ロゴス」とはギリシャ語で「ことば」の意味であること、師匠が牧師になられる前は、春風亭柳橋師匠のお弟子さんだったことなどです。そして誰にでも出来る腹話術を作り、「腹話術はあなたに必ず出来るよ。止めなければ」との師匠の言葉を伝えました。

次に、一人の学生さんに前に出てもらって人形を抱いてもらい、

○ ケンちゃん

× ナアニ

○ あのねえ

× ウン を、テレサが人形の声を出して一緒に演じました（写真）。見ている

学生さんたちは興味津々でした。

ウータンさんに「イツツ」の演技をしてもらった後、紙コップで人形作りをしました。見本は作ってありましたが（左写真）、思い思いの人形をにぎやかに、本当に上手に作り上げました！（右下写真） 児童館にいるような楽しい雰囲気でした。しかし、予想以上に学生さんが人形作りに熱中したため、その後の時間配分が難しくなり、用意したボランティア活動の動画は、作業をしながら見てもらいました。保育園での私たちの腹話術ボランティア活動や、ウータンさんとお人形のゆうちゃんを中心に園児とお年寄りの交流を盛り上げている映像から、活動のイメージを作ってもらいました。



紙コップ人形を作りました。

さて休憩の後、腹話術研修の本番です。全員立って発声の準備に入りました。腹式呼吸、師匠に言われたことを思い出しながら伝え、練習しました。

- 息を吸ってお腹を膨らませます。息を吐きながらお腹を凹めます。ローソクの火を消すように、口からフーッと息を出します。
- 口を閉じて、息を吸って、眉と眉の間、45度上に向かって、「ウー——ッ」と声を出します。
- はい、声が出ました。声が出ても出なくても、出たことにします（…師匠がそうおっしゃいました）。
- 人形を見て、大きな口を開けて「○ケンちゃん」、ケンちゃんは左を見て、右を見て、あなたに向かって「×ナアニ」、正面を見て「○あのねえ」、人形も正面を見て「×うん」

全員でこの練習を繰り返した後、個々に練習してもらいながら、一人ひとりをチェックしようとまわり始めました。のみ込みの早い人、遅い人、それぞれの個性があります。適当なところで、グループから一人ずつ前に出てもらい、代表6人に腹話術人形を使って演じる体験をしてもらいました。人形の表情を面白く操作しておどける学生さんがいて、客席が盛り上がりました（次ページ写真）。一通り「イツツ」をテレサのリードで実演しています。最期に、「ありがとう、サンキュウ」を全員で心ひとつにと思い、歌いました。

時間の配分、机の配置の仕方、学生さんに手伝ってもらうことなど、次回はもう少し工夫をしたいと思いましたが、みんなが笑顔で楽しく学べることができ、たいへん感謝でした。

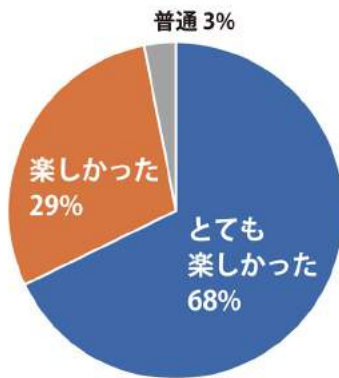


あるグループが作った人形たち

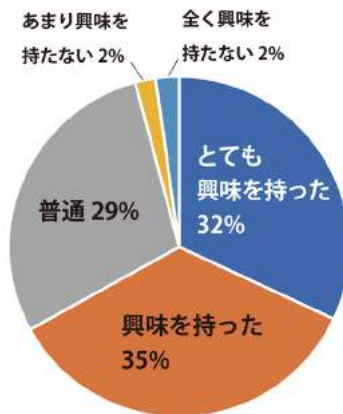
## 学生さんの終了時アンケート結果

これまで腹話術を見たことがある人は、主にテレビ（いっこく堂）を通して、93%もいました。今回のワークショップが「楽しかった」と回答した人は97%とほぼ全員で、会場のなごやかな雰囲気を反映していました。一方、腹話術の実技は「難しかった」と考える人も89%おり、それは「発声の仕方」の難しさのようです。腹話術そのものに「興味を持ち」、「今後役に立ちそう」と思った人は全体の2/3いました。役に立つのは「子どもを楽しませるために」、「子どもと触れ合う時に」、「保育士になった時」「特別支援の授業で子どもの興味を引く時」など具体的に考えられたようで、今回の授業はとても有意義だったと思います。

### 腹話術ワークショップは楽しかったですか？



### 腹話術に興味を持ちましたか？



学生の人形を使った練習とウータンさん



グループ代表が人形を抱いて「イツツ」を演じました。

## 大学院での腹話術入門

### 春風ウータン

白梅学園大学子ども学研究科の大学院生9人に、90分の腹話術入門ワークショップをさせていただきました。ボランティア活動のビデオを見たり、春風イチロー師匠とロゴスについて触れながら進め、パクちゃん人形、パペット、腹話術人形を使い「イツツ」の9パタを目標に練習しました。

参加のみなさんは興味津々で、特にお人形に触れると笑顔がはじけます。学生さんといっても子どもに関わるお仕事をしているベテランの方たちで、保育士、幼稚園教諭、臨床心理士、保健師、理学療法士、看護師など多彩でした。

一緒に腹式呼吸や頭音を練習したり、交代で「イツツ」をお人形と実演してもらう中で、最後はみなさんととても上達されていました。

終了時アンケートでは、全員が「難しかった」が、「とても楽しかった」とし、この経験は今後「役に立つ」と答えてくださっています。また9割の人が今後腹話術の研修会があれば「受講したい」と希望されていました。現場で活躍している人たちだけに、腹話術を使う場のイメージがありました。

人形の感想として、「どんどんかわいらしく感じられてきた」、「はまってしまいそう」の声があっとうれしかったです。また「腹式呼吸が気持ちよく、ストレスの解消によかった」と言う方もいました。これを機会に、ロゴス腹話術の輪の中に入ってくださいとうれしいなあと思いました。



院生さんの間でゆうちゃんは大人気でした。



ウータンさんの演技指導を熱心に見る院生さんたち

## 岩手からロゴス腹話術研究会の皆様へ

龍田ヒサエ

こんにちは。私は春風イチロー師匠より昭和49年5月に技術審査を受講。岩手帰郷後の昭和52年7月29日から8月6日までロゴス腹話術研究会世界大会にも参加できた幸せ者です。人形コウちゃんは年を取らず、40年経った私は技術の成長がありません。それを認めつつ人形コウちゃんと楽しく活動を続けております。

今日は地元の小学校へ「冬休みお話し会」に向きました（右写真）。なんと腹話術が初体験だということで「おもしろい」と喜んでもらえました。この達成感が次への意欲とつながるので大感謝。台本作りの力になります。

私の18番は3曲の歌です。「1パーセントの塩水の歌」「鈴と小鳥とそれから私」「せんせいと遊んだよ」これだけです。

でも腹話術は66歳になった現在も40年以上人生を支えてくれます。まだまだ夢を与えてくれます。楽しいです。

イチロー師匠とめぐみ様と一緒にの人生最高のお宝写真と今日の活動写真を同封させていただきます。

ロゴス会員の皆様にお会いできる日を楽しみにしております。岩手より皆様のご健闘を祈願申し上げます。

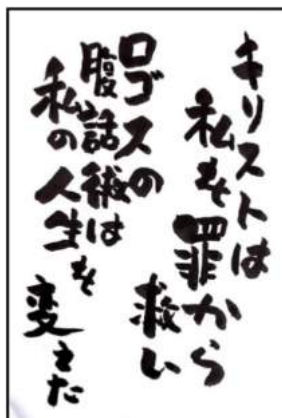
2020年1月



ヒサエ主任児童委員と人形コウちゃん



イチロー師匠、野田めぐみさん、私、春風みちるさん（昭和52年ロゴス腹話術世界大会、アメリカ）



（春風イチロー）



（絵：春風赤とんぼさん）

## ボランティアのお礼状

春風とんぼ先生

8月31日には、はるばる安城までおいでいただき、貴重なひとときを本当にありがとうございました。

カンちゃんかわいいですが、結構重たいですし、お疲れになったのではと、少し心配しております。でも、そのことを忘れてしまうくらい、とんぼ先生の笑顔と迫力はすばらしかったです。カンちゃんを子どものようにかわいがって大事にいらっしゃるのが、伝わってきました。

先生とカンちゃんと私たちとのやりとりが楽しかったです。みんなで新鮮な体験をさせていただきました。先生の5000回以上という信じられないほどのご経験の重みを感じました。

ロゴス腹話術の本を読ませていただくと、とんぼ先生とイチロー先生のロゴスへの思い入れがあってこそ、腹話術なんだと奥の深さを感じ、神様に感謝しました。私にとって腹話術は、まだまだ高嶺の花ですが、とんぼ先生から学ばせていただいたコミュニケーションの大切さ、ユーモアの魅力は、忘れずになりたいと思います。

安城中央礼拝教会教会員

### 今後の予定

2020年2月11日火曜日（祝日）、春日井グリーンパレスにて、研修会・技術認定会。

6月13日土曜日、名古屋駅前「百楽」にて総会。

※2020年度の年会費の納入をお願いいたします。

同封の「払込取扱票」をご利用ください。なお、払込取扱票の通信欄に「2020年度 年会費」と記載してください。

### 〈編集後記〉

おもしろいですね。お人形がいるだけでその場の雰囲気が変わります。今回の腹話術入門で初めてお人形に触れた大学・大学院の学生さんたちの笑顔がとても素敵でした。子どもとかかわる仕事をされていたり、それを目指している方たちということもあるのでしょうか、お人形への関心は高いものでした。そんなお人形の魅力を最大限引き出せるように、私たちは日々お人形と共にあって、学び、経験を重ねたいです。

〇年会費5000円、寄附をどうぞよろしくお願いいたします。

【会費・寄付金振込先】（名義はともに、「一般社団法人ロゴス腹話術研究会」です）

ゆうちょ銀行：振替口座番号 00240-2-103127

ゆうちょ銀行：店名：〇二八（読み ゼロニハチ）店番：028 普通預金 8 8 5 9 0 5 2

発行：一般社団法人 ロゴス腹話術研究会 事務局  
〒211-0005 神奈川県川崎市中原区新丸子町734-1  
アベニオ新丸子ビル402号  
TEL/FAX：044-733-6650  
メールアドレス：harukaze@logos.or.jp  
ホームページ：https://logos.or.jp